

祭りを用いた河川空間再生

祭礼イベントの常态化と都市水辺の賑わい形成に関する研究



背景

祭り
祭り・行事の規模縮小
継続の困難さ
▽
かつての賑わいの喪失

河川空間
川沿い歩道の狭さ
護岸と水面の高差
▽
親水性の低下

水の都 舟運の拠点 ▽ 地域の高齢化 車の発展

コンセプト

祭りを日常化する空間により、人の滞留と
関係性が生まれる河川空間をつくる。

手法

- ・遊歩道の整備
- ・祭り「見る」「見られる」
の関係を取り入れる

利用者

- 日常利用：地域住民
非日常利用：観光客、
学生、アーティスト

研究の構成

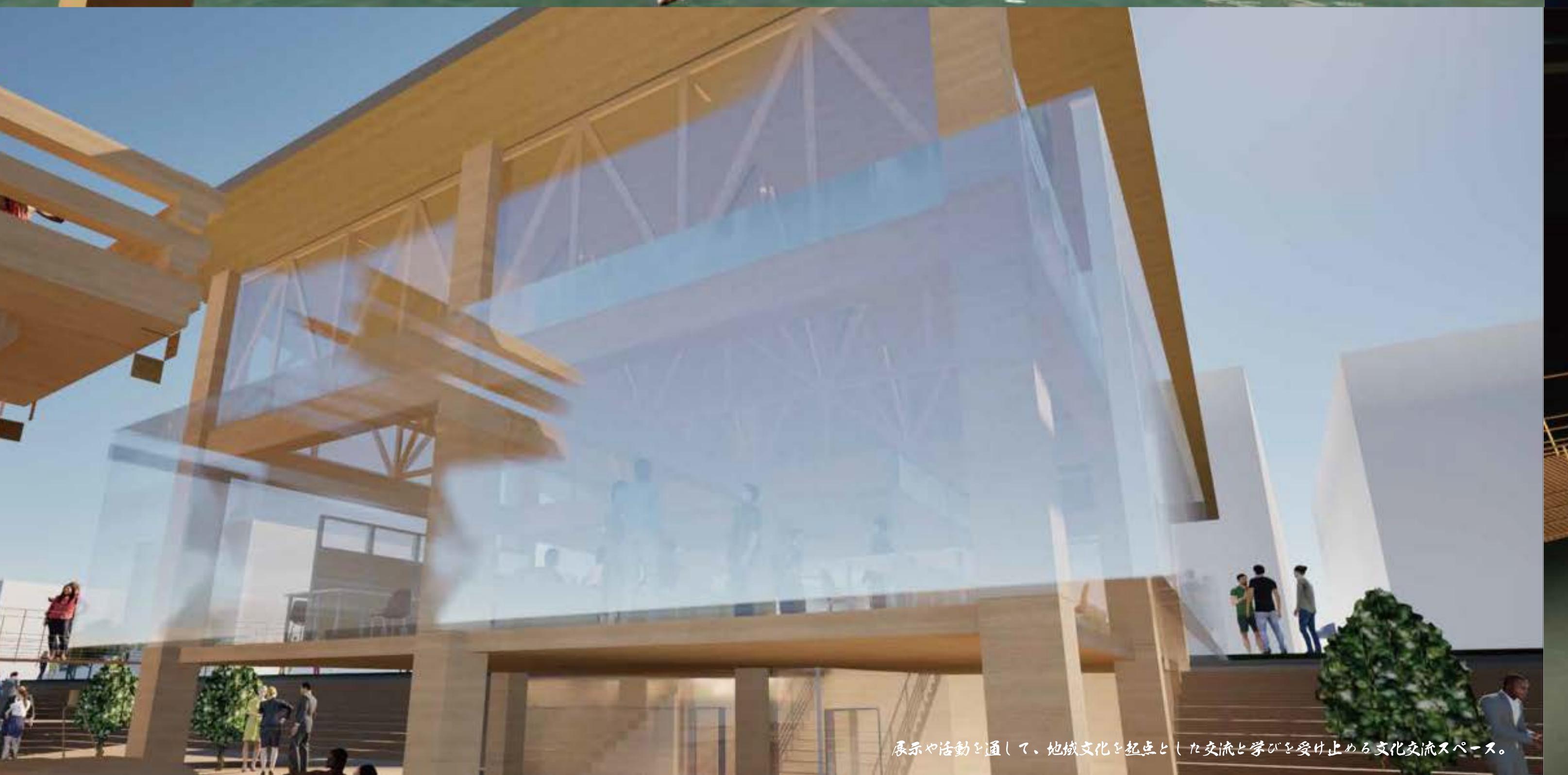
I 研究の概要
1. 背景 2. 用語の定義 3. 目的 4. 位置付け

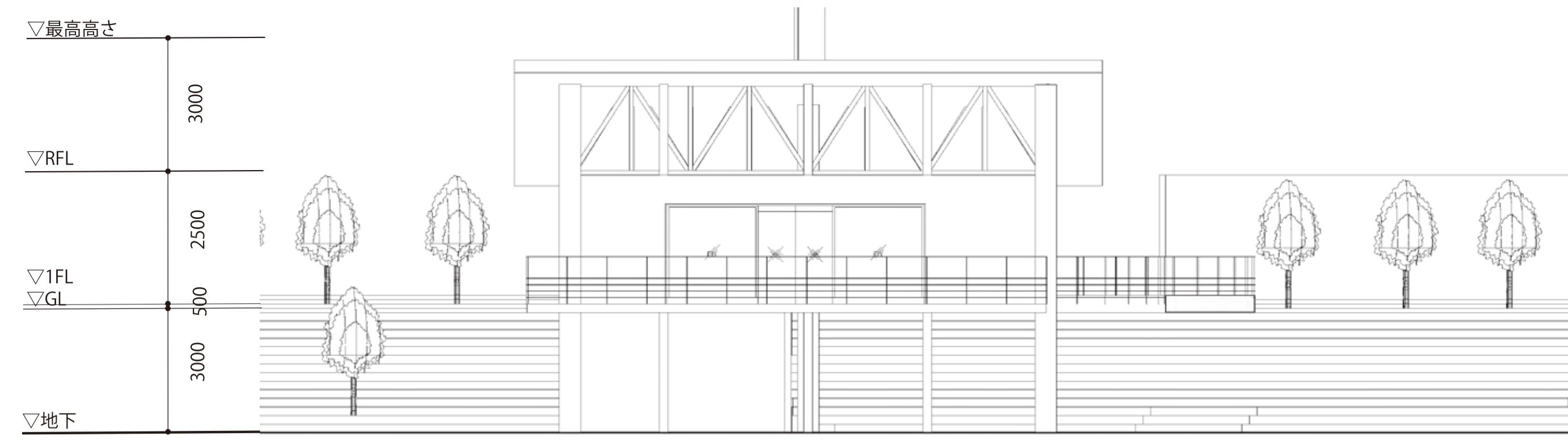
II 設計条件の整理
敷地計画、コンセプト

III 設計手法
遊歩道、「見る」「見られる」

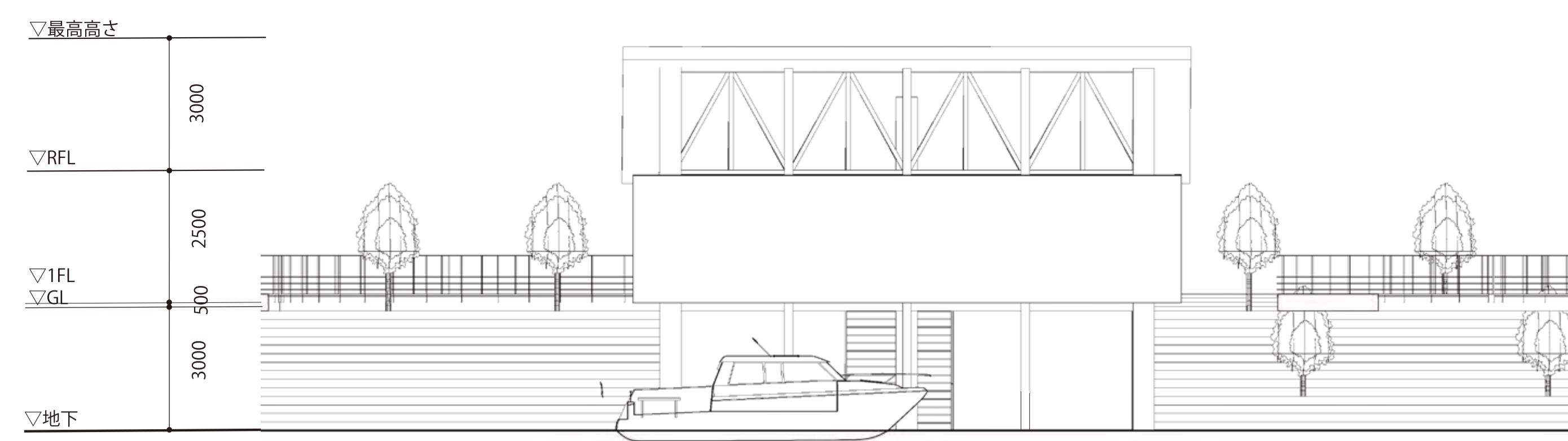
IV ダイアグラムの提示

V 設計提案





シェアラウンジ東立面図



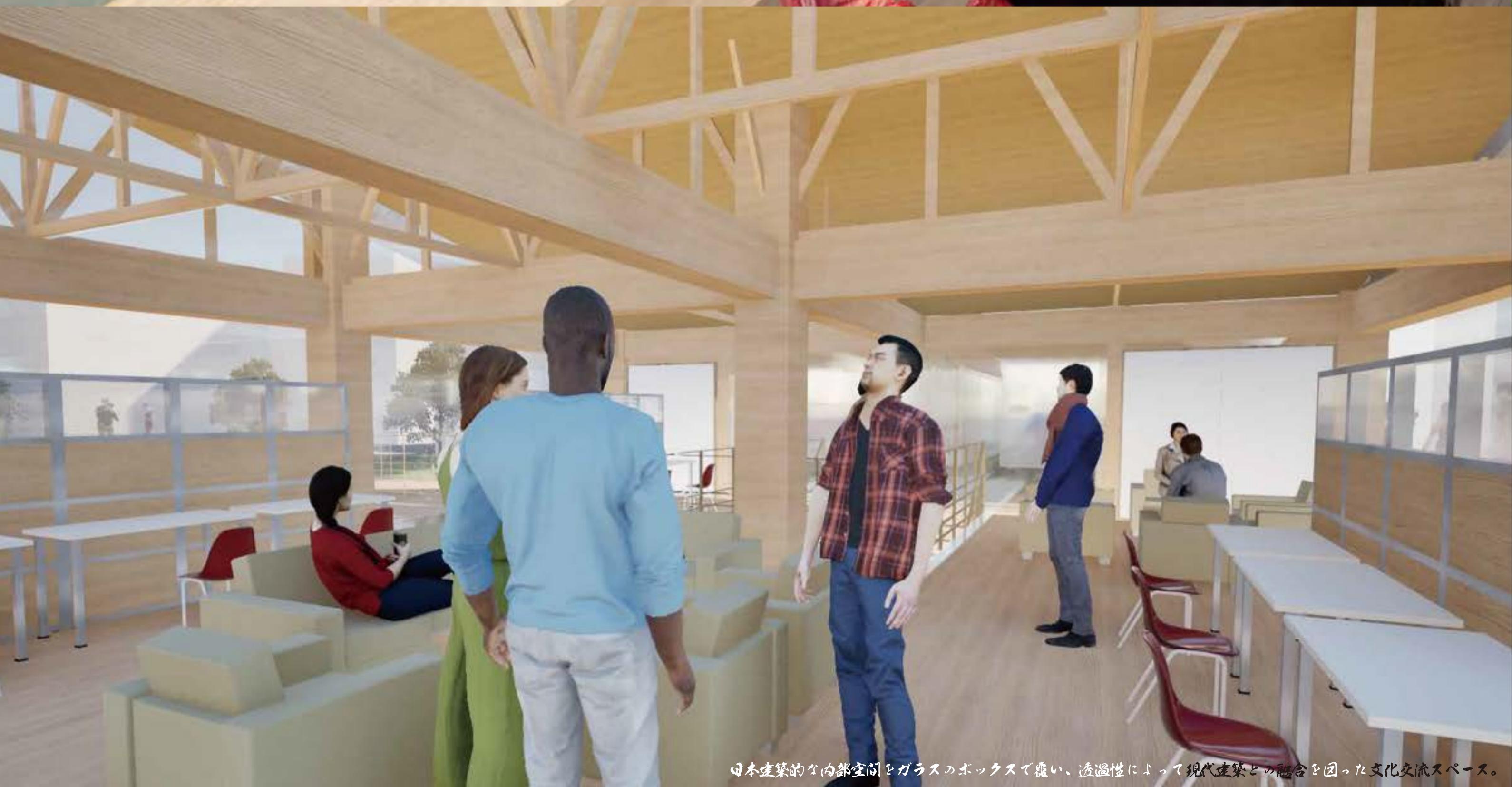
文化スペース西立面図



橋を中心に動線と行為が緩やかに集積し、日常の河川空間が繋ぎの場へと流れ替わっていく。



河川沿いに開かれ、人の滞留を受け止める日常的な居場所としてのシェアラウンジ。



日本伝統的な内部空間をガラスのボックスで覆い、透視性によって現代建築との融合を図った文化交流スペース。



動線や居場所の整備により、人が水辺へと近づき、滞在する河川空間を示す。



敷地

宣義

分析

大垣市水門川周辺は中
心市街地に位置しながらも、河川空間が十分
に活用されていない。

一般的祭りの宣義

1. 信仰
2. 感謝
3. 祝祭
4. 共同体の儀礼

祭りの精神とは

1. 感謝・祈り
協働・伝統の共有
2. 未来の意思、
つながりの維持

祭礼イベントの常态化の空間宣義

1. 特定の日程や年中行事としてのみ発生する非日常的なイベントを指すのではなく、日常の空間利用や都市活動の延長上
2. いつでも祭りへと転じうる状態が持続的に内包された空間



位置づけ

清渓川（韓国・ソウル） 親水空間再生の先行事例



出典) Dr In-Keun LEE Cheong Gye Cheon Restoration Project- a revolution in Seoul-
<https://seulsolution.kr/sites/default/files/policy/%5BEN%5Dcheong%20Gye%20Cheon%20Restoration%20Project.pdf> (最終閲覧日 2024/12/24)



出典) <https://krm-ins.up.seesaa.net/select/a.htm> (最終閲覧 2024/12/)

造り物祭礼（日本・熊本県） 中長期的祭り事例



出典)「260年の伝統「八朔祭」松ぼっくりなど自然の材料で制作『大造り物』が練り歩く」. NHK 熊本テレビ (2024/09/09)
<https://news.ntv.co.jp/n/kkt/category/culture/kke0626776098d454c87bbaf5b2c54e361> (最終閲覧日 2025/07/15)

親水性向上と祭りの継続性を統合し、既存事例には見られない河川建築のあり方を提案する。

ダイアグラム

